新日本保険新聞
（損保版）
第１～４月曜日発行
発行所　新日本保険新聞社
大阪市西区靱本町１丁目５－15
（郵便番号550-0004）
電話　(06) 6225－0550（代表）
FAX　(06) 6225－0551（専用）
購読料　１か月2200円
（消費税、送料込み）
©新日本保険新聞社 2022

# 組織はパーパスが必要である!!

## 大阪代協　通常総会、60周年記念式典を開催

会場のようす

### 6年ぶりに会員純増
### 全国トップの新入会員得て

大阪代協は、5月24日午後12時45分から、大阪市北区の毎日新聞オーバルホールで、第15期（第60期）通常総会を開催した。総会では、「お客様は信頼できる募集人から保険に入った方が安心し満足度が高い」を大前提として、パーパスの実現を目指していくことが宣言された。なお、総会終了後の理事会で新谷香代子氏が新会長に選任されたことに続き、大阪代協創立60周年記念式典および記念講演が行われた。

冒頭、山中尚会長が挨拶に立ち、「ここ3年間、新型コロナウイルスは代協活動に相当の影響を及ぼした。その中で、この総会までたどり着くことができた。今年度、大阪代協が創立されて60周年を迎える。総会に続いて記念式典を開催するのでどうぞよろしくお願いします」と述べた。

山中会長

総会では6つの議案が諮られた。

第1号議案「2021年度事業報告、収支報告の件」では、山中会長の「なぜ私たちに代協が必要なのか」について語りかけた15分間の動画配信が全国で高い評価を受けたとともに、2021年度版「代協活動の現状と課題」において金子会長挨拶の次にこの全文が掲載され、〝組織はパーパスが必要である〟という大阪代協の想いが全国に届けられたと報告された。また、企画環境委員会が実施した大阪代協の全会員を対象としたアンケート調査を通じて見えてきた「会員の思い」を41ページにわたって取りまとめたこと、さらに会員増強では年初の目標に届かなかったものの、全国トップの新入会員数を達成し、単年度で見れば6年ぶりに会員の純増を実現することなどが報告された。

第3号議案「2022年度事業計画の件」では、山中会長が、2022年度のパーパスを「大阪代協を活性化させ、保険代理店の持続的な発展、職業魅力の向上を実現する」と定め、「〝代協・保険代理店の存在理由（お客様は信頼できる募集人から保険に入った方が安心し満足度が高い）〟を大前提として、パーパスの実現を目指し活動を展開する」と力強く宣言した。そして、6つの重要課題（①仲間を増やす、②人を育てる、③情報を伝えきる、④CSR活動、⑤会員の態勢整備構築支援、⑥委員会活動）を取り上げた。とりわけ、仲間づくりの推進を最重要課題と位置づけ、会の活力維持、若くエネルギーあふれる人材確保のために、正会員の入会40店を目標に掲げた。

第5号議案「理事・監事選任の件」では、理事候補者39名、監事候補2名が選任されたほか、他のすべての議案についても圧倒的賛成多数で承認された。

なお、総会終了後に行われた理事会において、新谷香代子氏が新会長に選任された。

山中氏は日本代協理事に就任予定。

新谷新会長

### 関西代協から分離・独立して60年
### 先輩たちの尽力が今日につながる

通常総会に引き続いて大阪代協創立60周年記念式典および記念講演が盛大に開催された。

安本副会長が高らかに開会宣言をした後、新谷会長が「本日、大阪代協創立60周年の式典に多くの皆様がご参加いただいたことに心から感謝申し上げる。大阪代協は、昭和37年に関西損害保険代理業協会より分離、独立し産声を上げた。それ以来、大勢の諸先輩方のご尽力のもとに発展を続け現在に至っている。この60年間、大阪代協がブレなく貫いてきた、そしてこれから先も守り続けて行かなければならない大きな軸がある。それは〝お客様からの信頼〟である。私は、ここに代協活動の本質があると考えている。いかにお客様に信頼され、安心をご提供できる代理店・募集人を輩出するか。そしてお客様から支持をされ、求められる代理店にはどうなるべきなのか。そのための仕組みや取組みを代理店自らが考え、実践していく。必要な情報を集め伝えていく。若く、将来優秀な人材が集まる、やりがいのある業界にしていく。これこそが代協活動だろうと思っている。皆様のお力添えをいただきつつ、会員全員が同じ思いで、一日一日、たとえ少しずつでも前に進んでいけばきっとたどり着くと信じている。この素晴らしい職業をもっともっと発展させていきましょう」と挨拶した。

宗瀧室長

来賓紹介後、代表して3氏が挨拶に立った。まず、財務省近畿財務局理財部金融監督第四課保険監督室の宗瀧則之室長が「昨今問題となっているサイバーセキュリティ対応として、保険募集をしっかりお願いしたい。また、成人年齢の引下げにともなって18歳、19歳の人たちへの保険募集時の丁寧な説明をしてほしい」と代理店へ要望。損保協会近畿支部の藤原剛委員長は「損保協会では昨年度から第9次中期基本計画をスタートさせた。重点課題として『持続可能なビジネス環境の整備』『災害に強い社会の実現』と『損害保険リテラシーの向上』の3つを掲げ取り組んでいる。とくに『災害に強い社会の実現』と『損害保険リテラシーの向上』はお客様と直接接する皆様の協力が必要だ。募集人最高峰の資格である損害保険トータルプランナーの認定を取得し、その取組みにより損害保険リテラシーの向上、そして顧客本位の業務運営を実現していただきたい。代理店の皆様には、損害保険がお客様のいざというときにお役に立てるよう、プロの代理店として日ごろ培ってこられたお客様対応力を大いに発揮していただくとともに、損害保険会社との連携ではお力添えをお願いしたい」と述べた。最後に、日本代協の金子智明会長が「今日の基盤を作り上げた諸先輩の情熱と努力の重さを60年という歴史の中に痛感する。この間、全国最大の組織としての結束力をいかんなく発揮し、日本代協の事業活動を力強く牽引していただいたことに感謝申し上げる。大阪代協には次の時代を見据えて経営努力を重ねておられる多くの会員が所属している。お客様から信頼され、選ばれる代理店として、変化の時代を生き抜いていけるよう、代協活動に積極的に参画していただきたい。これまで以上に躍動し、参加して楽しく、役に立つ大阪代協を作り上げていただきたい」と挨拶した。

藤原委員長

金子会長

続いて永年会員・功労者表彰が行われ、代表して大阪代協相談役の奥忠道氏に新谷会長から表彰状および記念品が授与された。奥氏は損保代理店になった駆け出しの頃からの苦労話を交え、今こうして成功しているのは代協の仲間の支えがあったからだと感謝を述べた。また、優秀支部表彰も行われ、和泉支部の井上吉幸支部長、船場支部の山植崇光支部長、京阪支部の和田圭司支部長にそれぞれ表彰状が手渡された。

新谷会長と奥氏

2022年度の取組方針に続いて行われた記念講演では、「保険特集の裏側と経済誌記者から見た今後の保険業界」をテーマに、株式会社ダイヤモンド社ビジネスメディア編集局ダイヤモンド編集部編集委員の藤田章夫氏が、大手損保会社の取組方針など取材を通じて得た情報を紹介した。

式典終了後、祝賀会が盛大に開催され、60周年を祝った。

## 一日一日少しでも前に進んでいく

## これからも〝お客様からの信頼〟軸に

シンニチ保険Web
www.shinnihon-ins.co.jp
購読者専用バックナンバー閲覧パスワード
tsuru
2022年8月1日 AMまで
※偶数月の第一月曜日正午ごとに変更